

時代の流れの中で、地域の可能性を探る — ひろしまねの活動から —

Exploring the possibility of the local area in the current of the times

— From the activity of Hiroshimane —

安藤周治
ANDO Shuuji

はじめに

1) 中国地方・江の川流域で

45%を超える高齢化率の旧町村

2004年特定非営利活動法人 ひろしまね 発足

「もう一つの役場」を地域へ

「ローカル・ビジネス」による自治組織の経営

① 作木 むらで (現 三次市作木町)

86市町村から23市町へ

65人から18人へ、そして15人へ

18豪雪に関するアンケート調査から

2) ひろしまねの活動から

「地域で暮らす人々が困らない仕組みづくりのお手伝い」

① 地域経営組織の育成

島根県地域づくり中間支援組織補助事業で自治組織支援へ

島根県尾原ダム地域活性化支援事業

② 地域マネージャ育成

大学インターンシップ受け入れ・派遣 地域リーダー養成 インタープリター養成

③ 地域組織の収益事業開発・支援

石見教育ツーリズム まちむら機構 GT 調査 広島市女性センター企画交流事業

広島市内イタリア組食材開発・ブランド化 銀山街道ツアー・江の川発見ツアー

④ 地域資源調査・情報発信

銀河鉄・道プロJ 宮本常一に学ぶ江の川調査(我聞塾) ポータルサイトの運営

「しん・旅物語」プロジェクト 広域・横断推進組織育成

おわりに

「この36年、中国路 江の川流域で」

広島県作木村 人口 3500人(ピークは7000人 現2000人)

「38 豪雪」1963年大雪挙家離村「47・7 (1972年) 豪雨」

2004年3月115年で閉村

